

ほ
つ

NEWS

こころを支える、こころで支える

CONTENTS

- ・ユニバーシアードに出場
- ・人間学部トピックス
 - >体罰問題を通して新しい時代のスポーツ指導を考える
 - >大学周辺地域を題材にした演習を実施
 - >日中学生によるグループワークと発表
- ・入試ガイド
- ・突撃！研究室訪問



聖泉から世界へ…
ユニバーシアード競技大会に日本代表として出場！

AO入試エントリー開始！

STEP
01

エントリー

STEP
02

AO選考会

STEP
03

出願

▶ 合格発表

AOエントリーシートに必要事項を記入し、本学入試室まで提出してください

本学教員と対話形式で、各学科での学び等について考えていきます。
AO選考会において、本学で学ぶ意欲が認められた方に「出願資格」が与えられます。

「出願資格」を受け取られた加賀で、本学への入学意思があるかがた出願できます。

◦ エントリー期間

8/1(木)～8/20(火) 8/26(月)～9/10(火)
9/17(火)～10/15(火) 11/25(月)～12/9(月)

◦ AO選考会開催日

8/24(土) 9/14(土) 10/19(土) 12/14(土)

◦ 出願期間

9/24(火)～9/30(月) 10/7(月)～10/25(金)
12/2(月)～12/20(金)10/4(金)
10/31(木)
12/26(木)

スポーツ・地域活動推薦入試もCHECK!!



突撃取材！研究室訪問

今回は、人間心理学科健康運動心理専攻の多胡 陽介（たご ようすけ）講師をご紹介します。

多胡 陽介 講師

ゼ!!!等での学生指導に関しては、どのような感じで進めておられるのですか？

これから超高齢社会になつてから中で、高齢者の健康向上維持させることは大切になります。そのため、中・高齢者を対象としたフィットネス事業を開発しようとっています。現在は近隣の総合型地域スポーツクラブと連携した事業を計画したり、長浜市にあるティーサービスの施設に学生を派遣したりして、活動を実体化しています。



炭谷

最近の御研究はどんな形で進められているのですか？

介講師の研究室にお邪魔してきました。今回セイントピュー形式で紹介します。

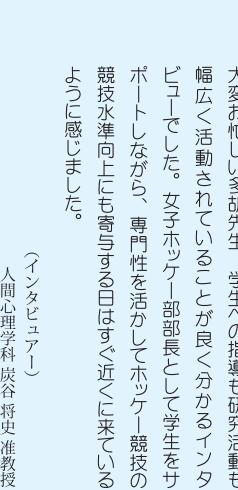
多胡

研究に関しては2つの関心を持つて進めています。まずは、バイオメカニクスの観点からのホッケー研究です。私は女子ホッケー部の部長としての顔も持っています。かねてより専門であるバイオメカニクスを通じてホッケー界に貢献したいと思っていました。ところが、この分野の研究機器は高額なんですね。長年、手元にそろえることができなかった。しかし、最近は技術が進歩し、比較的安価で信頼性の高いデータを測定できる機器が発売されるようになつてきました。そこで、機器を買いつるえ、ようやくホッケー選手のデータを測定する準備が整つてきました。

炭谷

最近の御研究はどんな形で進められているのですか？

セイントピュー形式で紹介します。



多胡

最近の御研究はどんな形で進められているのですか？

セイントピュー形式で紹介します。

多胡

最近の御研究はどんな形で進められているのですか？

セイントピュー形式で紹介します。

炭谷

最近の御研究はどんな形で進められているのですか？

セイントピュー形式で紹介します。

多胡 陽介 講師

こちらはまだまだなんですが、リズムと運動音楽も大好きなのですが、リズムは運動・スポーツと関係が深いと考えています。まだまだ始めたばかりなのでですが、これに関しても研究を進めたいと考えています。

f 聖泉の旬な情報が満載！ ※ログインなしでも閲覧いただけます

公式 face book 開設！

<https://www.facebook.com/SeisenUniversity>



編集・発行 学校法人聖泉学園
〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町720
TEL 0749-43-7511 FAX 0749-43 5201
Email nyuushi@seisen.ac.jp

発行日 2013年8月8日

ユニバーシアード競技大会に日本代表として出場! 七位入賞で大会を終える

学生のためのオリンピック ユニバーシアード競技大会

聖泉大学男子ホッケー部から、先に行われたユニバーシアード競技大会に松本謙人さん（人間学部人間心理学科4年生）が日本代表として参加しました。ユニバーシアード競技大会とは、国際大学スポーツ連盟（FISU）が主催する学生を対象にした国際総合競技大会で「学生のためのオリンピック」といわれ、1959年（イタリア・トリノ）から2年に一度開催されており、今回の大会（ロシア・カザン）で27回目の開催となります。フィールドホッケー競技は1991年に開催された大会（イギリス・シェフィールド）以来22年ぶりに競技種目に採用されました。

大会は7月6日からロシア・カザンを会場に開催され、フランス、ドイツ、ウクライナ、韓国など強豪国との対戦が行われました。

また、本学人間心理学科健康運動心理専攻の山堀助教が、代表チームのヘッドコーチとしてチームを率いました。



最後まであきらめない気持ちが前面に 日本ホッケー界の未来を見る

ロシアは予想以上に気温が高く、万全の準備をして望めたわけではありませんが、実力が未知数の相手に対し、堅守速攻というスタイルを貫き、どこまで日本のホッケーが通用するかの挑戦でした。予選リーグのフランス戦は前半を互角に戦いながらも惜敗、ドイツ戦は力の差を見せつけられ完敗、必勝を期して望んだウクライナ戦は2-0から追いつかれて痛恨のドロー、ラバール韓国戦は1-4から追いつきドロー、予選リーグは勝点・得失点で韓国と並んだが総得点の差で7・8位決定戦にまわり、イタリアに圧勝して7位入賞で大会を終えました。

この大会を通じて1戦を交える毎にチームとして成長しているのがはっきりと目に見え、特に予選リーグ最終戦の韓国との試合では選手全員が決して諦めないと強い気持ちが前面に出ており、素晴らしい試合でした。この大会で得た経験を活かし、未来の日本ホッケー界を背負ってもらいたいと願っています。

（人間学部人間心理学科 山堀貴彦助教）



最終順位	
優勝	ロシア
2位	フランス
3位	ドイツ
4位	マレーシア
5位	南アフリカ
6位	韓国
7位	日本
8位	イタリア
9位	ウクライナ
10位	ポーランド

日本の対戦成績	
<予選リーグ>	
vs フランス	● 2-5
vs ドイツ	● 0-6
vs ウクライナ	△ 2-2
vs 韓国	△ 4-4
<順位決定戦>	
vs イタリア	○ 4-1

予選リーグ	
Group A	Group B
1位 ロシア	1位 フランス
2位 マレーシア	2位 ドイツ
3位 南アフリカ	3位 韓国
4位 イタリア	4位 日本
5位 ポーランド	5位 ウクライナ

→ 松本 謙人 KENTO MATSUMOTO 人間心理学科 健康運動心理専攻4年生)

今回ユニバーシアード競技大会に参加し、7位という結果に終わってしまいましたが、自分にとってはとても刺激的な大会となりました。

代表に選出された当初は、なかなか自分が日の丸を背負うと言う事の実感が湧かずにはいましたが、国際大会の独特的雰囲気を感じる中で、日本の代表として負けられないという意識が強くなりました。今大会で、フランスやドイツ、イタリアなどのヨーロッパのチームと対戦することができ、国内では経験することができないレベルの高いホッケーを体験することができました。この経験を聖泉大学でのホッケーにも活かし、将来はフル代表として日の丸を背負うことができるよう、日々のトレーニングに一層気合を入れ取り組んでいこうと思っています。



体罰問題を通して新しい時代の スポーツ指導を考える

NEWS & TOPICS 01
公開講座

現在、学校運動部活動など様々なスポーツ指導の現場において体罰問題が深刻化しています。これら体罰問題を受けて、文部科学省は、学校での運動部活動における指導と体罰の区別を示したガイドラインを示すなど対応を迫られています。そこで、人間学部スポーツ文化研究所は、現場で活躍するスポーツ指導者をパネリストとして招き、体罰問題を通して新しい時代のスポーツ指導の在り方を考えるシンポジウムを開催しました。当日は、各競技の指導者や学生など約120名のご参加をいたしました。熱心な議論が展開されました。

基調講演でトイツ在住のジャーナリスト高松平藏氏は、日本のユニアド期では部活動を中心とした縦割り社会で、勝利至上主義のスパート精神が主流で選手、スタッフ共にフルゲットな関係の中で伸び伸びと活動しており、体罰が起きにくい環境であると説明されました。

その後、小学、高校、大学と様々な年代で指導に当たっている指導者によるレポートが行われ、会の終盤には今回の登壇者によるパネルディスカッションが行われました。学生とともに地元に多様な情報を発信し、議論を展開していくままです。

大学周辺地域を題材にした 演習を実施

NEWS & TOPICS 02
キャリア創造演習

キャリア創造演習Aにて、大学周辺をより良くするにはどうすればいいかを課題に、ブレインストーミングとプレゼンテーションとの演習を行いました。

キャリア創造演習Aは、キャリア創造専攻のコアにあたる科目の一つで、自分の適性、強み弱みについて自ら気づくという気づきの学習を行なうとともに、知的創造の技法も演習を通して学んでいます。学生たちは2つのチームに分かれ、2週間かけて、本学の周辺地域を、もっと良くできる点を見つけ出し、さらに良くするという課題も課されました。

そして、3週目には、教室で各チームはプレゼンテーションを行いました。両チームとも、発表する際も、聞く際も真剣に参加し、時には良くした方がいい点の現状の示し方や根拠について、厳しく指摘や反論が行われました。カードは模造紙上に貼り付けることになっていましたが、その際は発表を前提にデザインに工夫をするという課題も課されました。

そして、3週目には、教室で各チームはプレゼンテーションを行いました。両チームとも、発表する際も、聞く際も真剣に参加し、時には良くした方がいい点の現状の示し方や根拠について、厳しく指摘や反論が行われました。カードは模造紙上に貼り付けることになっていましたが、その際は発表を前提にデザインに工夫をするという課題も課されました。

日中学生によるグローバルワークと 発表をおこないました

NEWS & TOPICS 03
中国の社会と教育

グローバル化した現代世界、中国の政治・経済・社会の動向を無視しては、現代社会を読み取れないと言われています。この授業では、中国社会と教育事情を知り、中国をもつと理解できるよう、中国の社会制度、人口問題、社会福祉、労働市場、教育事情などを中心に学習しています。また、中国の社会と教育について、日中学生によるグループワークを行い、日本中の比較視点から、中国を知る取り組みを行っています。その成果として、授業の前半と後半にグループ発表を実施しました。学生が熱心に課題を取り組んで、実りのある発表ができるようになりました。さらにはそれへの再反論などの舌戦が繰り広げられた場面もありました。

プレゼンテーション後の感想を聞くと、「みんなで協力できてよかったです」というものもあれば、「もっと1つひとつに思うことをコメントしつつ発表すればよかった」というものもあり、それぞれに得たものと、見つけた課題のある試みとなりました。

【教育について】

- ① 日中教育についての比較
- ② 日中スポーツ教育についての比較
- ③ 日中の学生制服について
- ④ 少数民族から見た日本
- ⑤ 一人っ子政策について

